

## 【2020年度決算 補足説明資料】

### 1. 2020年度決算

< P 4 ~ 1 1 >

- 売上高はガス販売単価の低下、業務用や卸供給等の販売量の減少等により、4期ぶりの減収となりました。
- 営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は2期連続の増益となりました。減収額を超える売上原価の低下（ガス事業における販売価格と原料購入価格の変動に起因するスライド影響）と、販管費の減少等により、営業外損益の減少はありましたが、経常利益は前期並みながら増益となりました。
- 2021年度通期は、前期実績に比べ、経常利益ベースで増収・増益を見込んでおります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期に特別利益を計上していたため、減益を見込んでおります。
- 2021年度の株主さまへの配当は、年間10円を予定しております。

### 2. 広島ガスグループ2030年ビジョン

< P 1 2 ~ 1 5 >

- 「幸せにつながる感動発信」をスローガンに、4つの基本方針と6つの基本戦略を掲げ、2030年の目指す姿の実現に向け、さらなるエネルギー事業の強化に取り組めます。
- グループ全体の収益性と安全性を高め、強靱な企業グループを構築するとともに、持続的な発展を目指します。

### 3. 中期経営計画

< P 1 6 ~ 1 7 >

- 3年間のガス需給計画では、大口需要家へのガス供給量の減少等により、年平均4.5%減少となっておりますが、燃料転換などの新規開発、原単位向上に向けた新たな取り組み等により、販売量増加に向けて取り組んでまいります。

- 設備投資計画については、天然ガスの普及拡大と供給安定性向上を目的とした幹線投資やその他事業の成長に資する新規事業投資等、LPG事業では、コミュニティーガス団地における経年劣化した導管をPE管等、耐震性の高い導管への取替促進など、保安対策を実施してまいります。

#### 4. トピックス

< P 1 9 : 各種サービスの充実 >

- 「このまち思い」をキーワードに、これまで、Web会員サービスや、ポイントサービス等の新サービスを導入し、2020年度についても「ガスファンヒーターはじめて割」の固定メニュー化など、各種サービスの向上を図ってまいりました。

< P 2 0 ~ 2 5 : 新規事業等への取り組み >

- 2030ビジョンに掲げる地域貢献、新たな事業収益基盤の構築に加え、ESG経営、SDGsへの貢献を念頭に、バイオマス混焼発電事業をはじめ、北米発電事業への出資、里山再生事業、小水力発電事業への参画、広島空港民営化運営新会社への出資等を行っております。

< P 2 6 ~ 2 9 : 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 >

- 当社グループは、2020年10月に、「広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言」を策定いたしました。今後は、2030ビジョン達成につながる事業活動と、SDGsを共通の目標と捉え、CSR活動、ESG経営、そしてSDGsの取り組みを一本化して進めてまいります。

< P 3 0 ~ 3 1 : 「2050年カーボンニュートラル」への取り組み >

- 当社グループは、国の方向性や業界団体である日本ガス協会の考え方を踏まえ、「2050年カーボンニュートラル」への取り組みとして、脱炭素化社会の実現に貢献する事業展開へ挑戦してまいります。

以 上